

心理劇

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

第1巻 第1号/平成8年12月1日 Vol. 1, No. 1, December 1996

巻頭言	増野 肇	
特集<教育講演>		
わが国の心理劇を振り返る—21世紀の心理劇に向けて—		1
	<講師> 外 林 大 作	
	松 村 康 平	
	迎 孝 久	
	<司会・コーディネーター> 台 利 夫	
原 著		
サイコドラマのグループプロセスの研究	磯 田 雄二郎	17
—多国籍グループに見られた特色—	磯 田 由美子	
日常生活と心理劇	黒 田 淑 子	25
—実践と研究の間—	野 並 美 雪	
	神 井 知 子	
	山 口 香 苗	
	榊 田 智 子	
心理劇における遊びの機能とその治療的意義	島 谷 まき子	39
—精神分裂病患者の心理劇の事例を通して—		
生活科学教育における「サイコドラマ」導入の意味	高 橋 類 子	49
	増 野 肇	
実践報告		
アルコール依存症者に対する古典的サイコドラマの実践	小笠原 美 江	61
書 評		
「神を演じ続けた男」	高 良 聖	69
「心の世界と現実の世界との出会い」	磯 田 雄二郎	70
情 報		
国際集団精神療法学会 (IGPA) 第12回大会に出席して	磯 田 由美子	73
イギリスにおける第1回国際サイコドラマ会議に出席して	前 田 ケ イ	74
会 報		76

THE JAPANESE JOURNAL OF PSYCHODRAMA

Vol. 1 No. 1/December 1996

CONTENTS

Introductory Remarks	Hajime MASHINO
Special Articles : Educational Lecture	
From historical points of view of Psychodrama in Japan	1
- Looking forward to Psychodrama in the 21st century -	
	<Lecturer> Daisaku SOTOBAYASHI Kohei MATSUMURA Takahisa MUKAI <Chairman • Coordinator> Toshio UTENA
Articles	
On the Study of the Group Process in Psychodrama (I)	Yujiro ISODA ... 17
- From the Characteristics Observed in a Multi-national Group -	Yumiko ISODA
Daily Life and Psychodrama	Yoshiko KURODA ... 25
- Interactions Between Practice and Study -	Miyuki NONAMI Tomoko KAMII Kanae YAMAGUCHI Tomoko MASUDA
The Function of Playing and its Therapeutic Significance in Psychodrama	
- through the case study of psychodrama with schizophrenic patients -	
.....	Makiko SHIMATANI ... 39
The Meaning of Introducing Psychodrama into Education of Living Science	
.....	Ruiko TAKAHASHI ... 49 Hajime MASHINO
Practice studies	
Classical Psychodrama for Alcoholic Inpatients	Yoshie OGASAWARA ... 61
Book Reviews	69
Information	73
Announcement	76

Edited and Published by

JAPAN PSYCHODRAMA ASSOCIATION

(c/o The Institute for the Science of Relationship, 13-9-501 Sakuragaoka-cho, Shibuya-ku, Tokyo,
150, JAPAN)

President : Hajime MASHINO

Editor : Yasuko MUTO

Editorial Committee : Hiroko IBARAGI (Sugano Clinic)

Masamichi KAWAHATA (Yokohama City Univ.) ; Munetsugu TODO (Yamazaki Mental Hospital)

Hajime MASHINO (Japan Women's Univ.) ; Susumu HARIZUKA (Kyusyu Univ.)

Yasuko MUTO (Yokohama National Univ.)

執筆要項

1. 論文の内容は未公開のものに限る。事例提示の場合には、そのプライバシーに関し著者が責任をもって十分配慮すること。
2. 論文の長さは、原則として原著は表と図、写真を含めてB5判(20×20字)用紙40枚まで、資料は30枚までとし、それを超える場合は実費を投稿者の負担とする。
3. 原稿は横書きで、原則として常用漢字・現代かなづかいを用い、数字は算用数字を用いること。表と図、写真は必要最小限にして別紙に書き、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 投稿論文の冒頭には、本文とは別に表題、著者名、所属機関名並びにその英訳を記す。また、英文アブストラクト(200語以内)およびその日本語訳を必要とし、英語で5項目以内のキー・ワードをつけること。英文は英語の専門家の校閲を経ていること。
5. 外国人名、地名に原語を用いる以外には、記述中の外国語になるべく訳語をつけること。
6. 引用文献には本文の最後に著者名のアルファベット順に一括して記載し、本文中では、著者名(発行年)で引用すること。
 - a) 文献の記述形式は、雑誌の場合は、著者名、公刊年度(西暦)、論題、誌名、巻(ゴチック)、号、記載頁の順序による。単行本の場合は、著者名、発行年度(西暦)、書名、発行所とする。ただし、編者と担当執筆者の異なる単行本の場合は、該当執筆者名を筆頭にあげ、以下発行年度、編者名、書名、発行所の順とする。
 - b) 同一著者で2種以上の文献がある場合には発行年度順とし、さらに同年度に同一人の2種以上の文献がある場合には1990 a、1990 bのように区別して記載すること。
7. 校正は、初校を著者、再校以降は編集部で行う。
8. 原著、資料論文については、執筆者に別刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
9. 本誌に掲載された論文の原稿は、原則として返還しない。
10. 投稿に際しては、投稿原稿とは別にコピーを2部必ず添えて、書留便として送付すること。

編集委員

茨木 博子 川幡 政道 藤堂 宗継 針塚 進
増野 肇 武藤 安子* (* 編集担当常任理事)
David Gough (英文校閲)

編集規定

1. 本誌は日本心理劇学会の機関誌として年1巻発行する。
2. 本誌は、原則として本学会会員の心理劇に関する論文の発表にあてる。
ただし、非会員からの投稿論文で本学会に寄与するものは、掲載が認められることもある。
3. 本誌には、特集、原著、資料のほか、書評、会報などの欄をもうける。
4. 特集、書評欄は、原則として編集委員会の指定した依頼原稿によって構成する。
5. 原著論文は、未公刊の心理劇とその関連分野に関する理論的ならびに臨床的研究論文とする。
6. 資料は、未公刊の事例・調査・実践等を報告する論文とする。
7. 投稿論文は、編集委員会によって審査され、その掲載の可否が決定される。
なお、編集委員会は、会員もしくは会員外に審査協力を依頼することがある。審査協力者の氏名は、「編集協力委員」として公示する。
8. 本誌の編集は、編集委員会の責任のもとに行われる。
9. 原稿の印刷に特に費用を要するものは、執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文を無断で複製および転載することを禁ずる。

心 理 劇 第 1 巻 第 1 号

1996 (平成 8) 年 12 月 1 日 発行

編 集 日本心理劇学会編集委員会

発 行 日本心理劇学会
〒150 東京都渋谷区桜丘13-9-501
関係学研究所気付
FAX 03-3770-4850

印 刷 共進印刷株式会社
〒233 横浜市港南区港南3-5-30
